

平成 30 年度

熊本市エイズ総合対策推進会議

日時 平成 30 年 8 月 7 日 (火)
午後 2 時～4 時

場所 熊本市総合保健福祉センター (ウェルパルクまもと)
1 階 大会議室

平成 30 年度 熊本市エイズ総合対策推進会議 次第

1 開会

2 委嘱状交付

3 局長挨拶

4 委員紹介

5 会長・副会長選出

6 講話

- (1) エイズの現状と課題 熊本大学エイズ学研究センター センター長
松下プロジェクト研究室 教授 松下 修三 氏
- (2) 熊本県におけるH I V新規感染動向 熊本大学医学部附属病院 感染免疫診療部
講師 中田 浩智 氏
- (3) H I V感染者の療養支援と地域における課題 熊本大学医学部附属病院 看護部
日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師 高木 雅敏 氏

7 議事 熊本市エイズ対策について

- (1) エイズ及び性感染症の発生動向
- (2) 平成 30 年度～2022 年度(平成 34 年度)H I V感染および性感染症の予防対策(計画)
- (3) 平成 29 年度報告及び平成 30 年度計画

8 意見交換

9 閉会

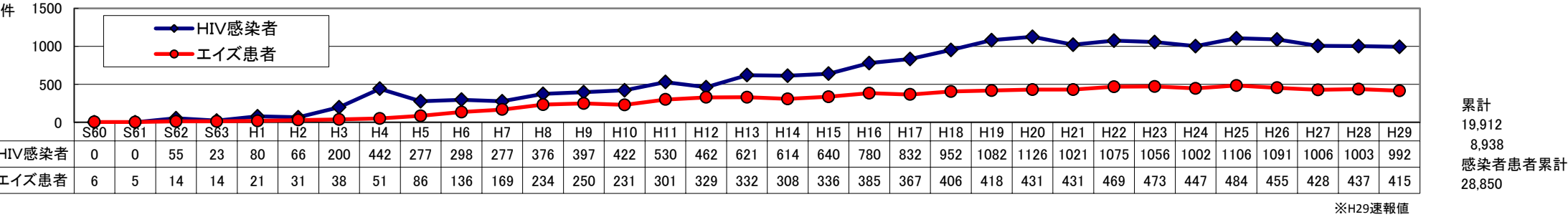
資料目次

- 1) 統計「エイズ及び性感染症の発生動向」・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2) 平成 30 年度～2022 年度(平成 34 年度)H I V感染および性感染症の予防対策
(計画)・・・6
- 3) 熊本市エイズ対策事業 平成 29 年度報告・平成 30 年度計画・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 情報「エイズ動向委員会報告 2018 年 3 月」から抜粋・・・・・・・・・・・・・・・・・14

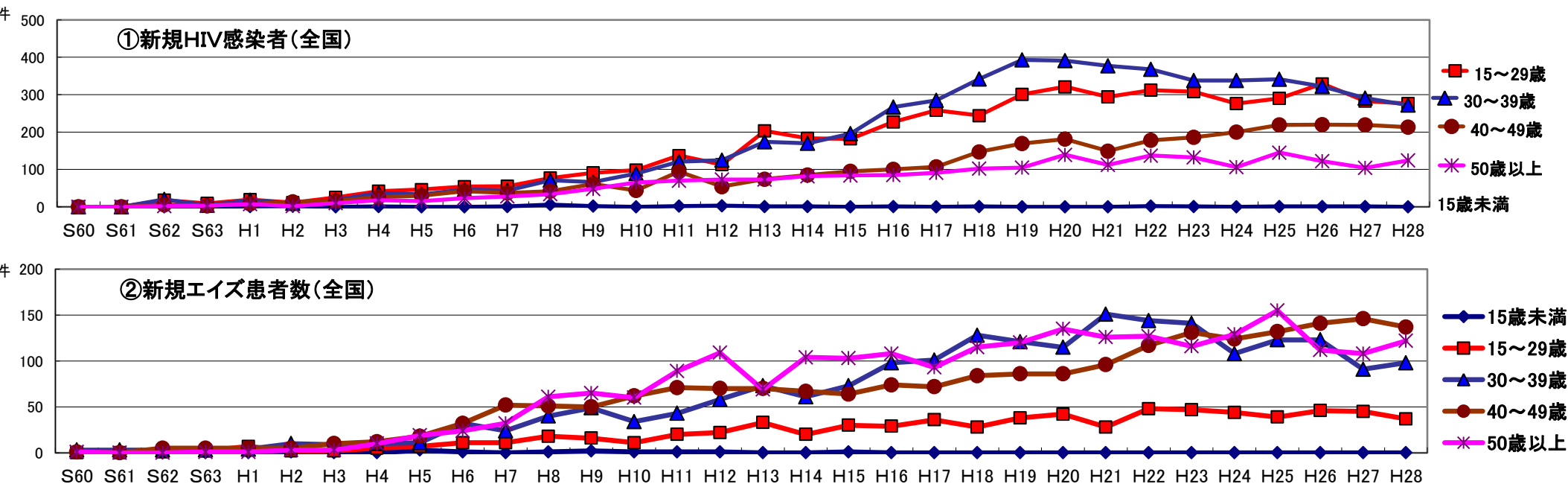
1)統計「エイズ及び性感染症の動向」

■全国のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

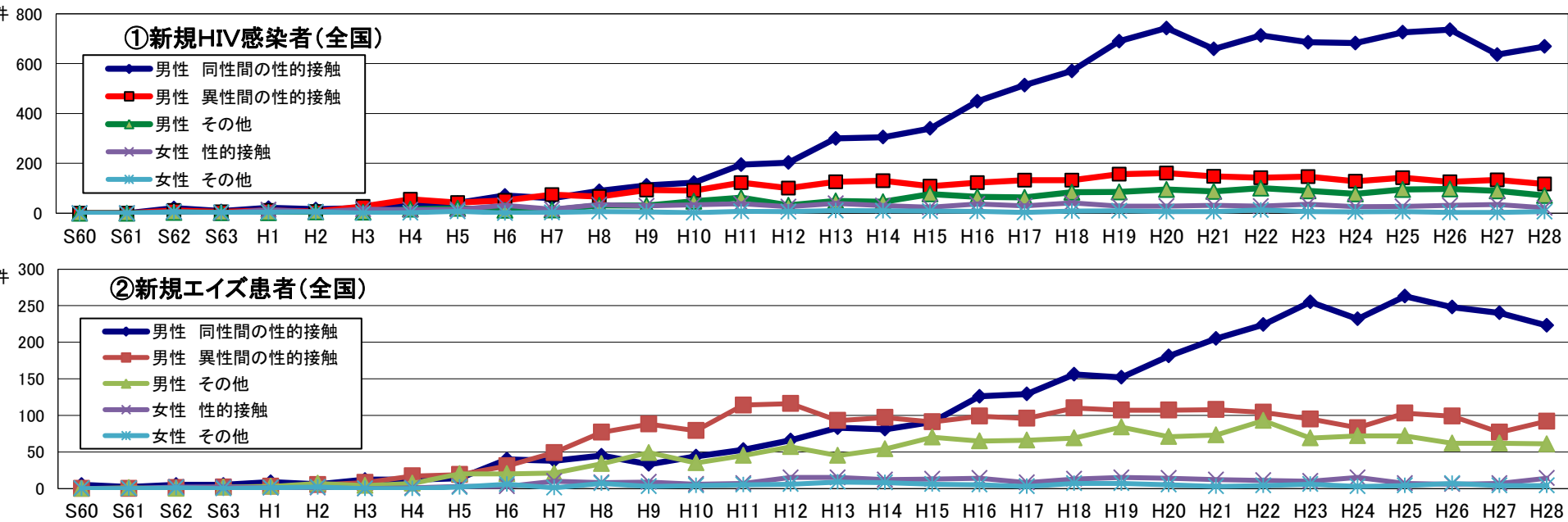
1. 年次推移(全国)



2. 年齢階級別推移（日本国籍のみ）

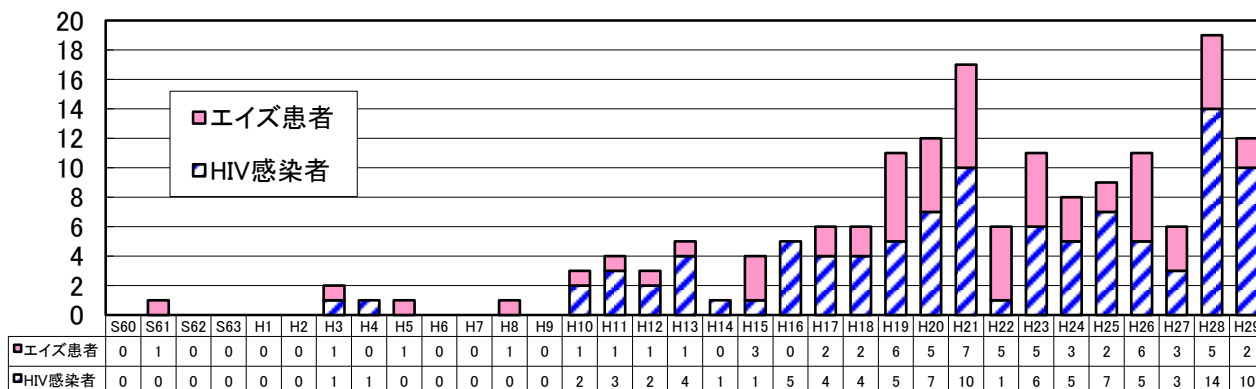


3. 感染経路別推移（日本国籍のみ）※同性間とは両性間を含む。その他は不明を含む。



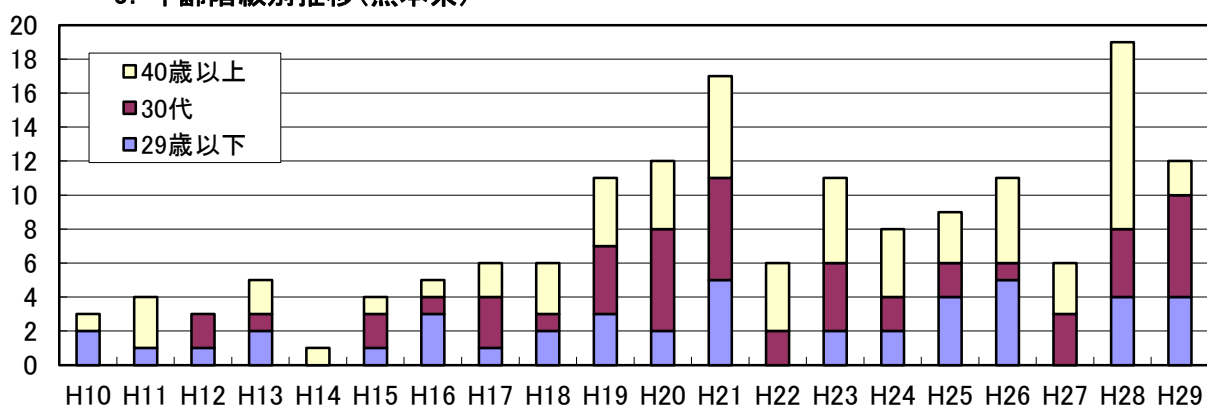
■ 熊本県のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

4. 熊本県のHIV感染者・エイズ患者報告数の年次推移

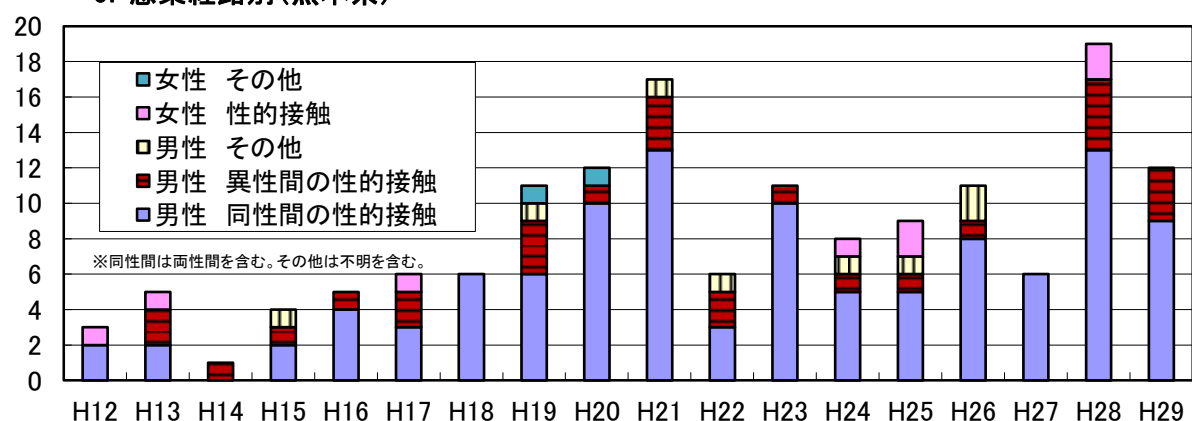


感染者累計 101
患者累計 64
感染者患者累計 165

5. 年齢階級別推移(熊本県)



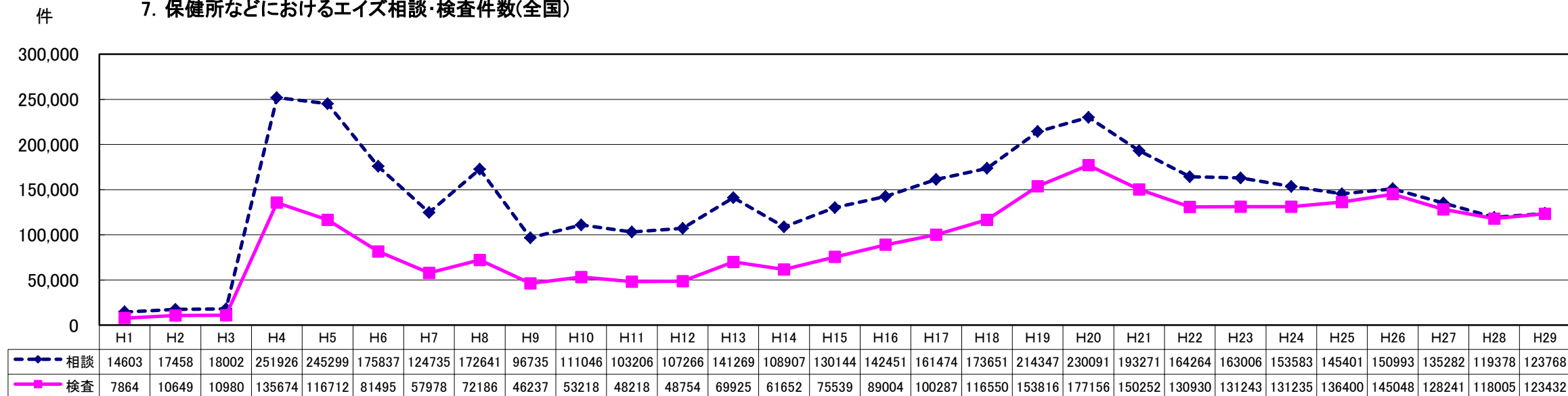
6. 感染経路別(熊本県)



出典 4～6: 感染症発生動向調査事業

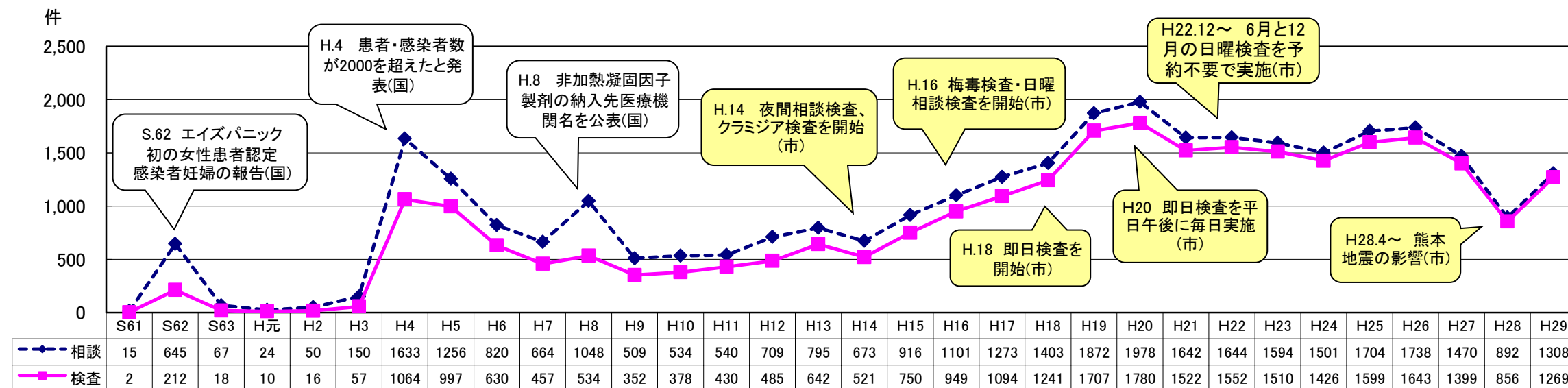
■エイズ相談・検査数推移

7. 保健所などにおけるエイズ相談・検査件数(全国)



出典 7 :厚生労働省エイズ動向委員会によるエイズ発生動向年報及びエイズ動向委員会報告

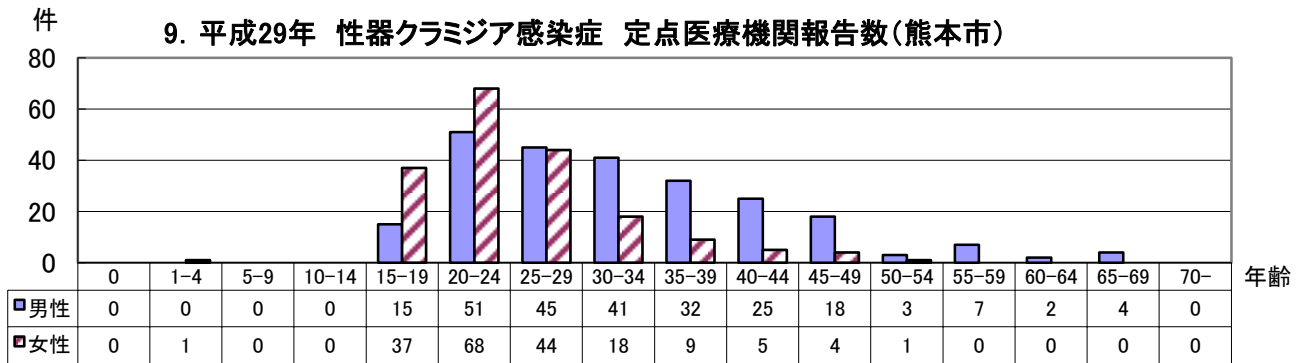
8. 熊本市 エイズ相談・検査数の推移



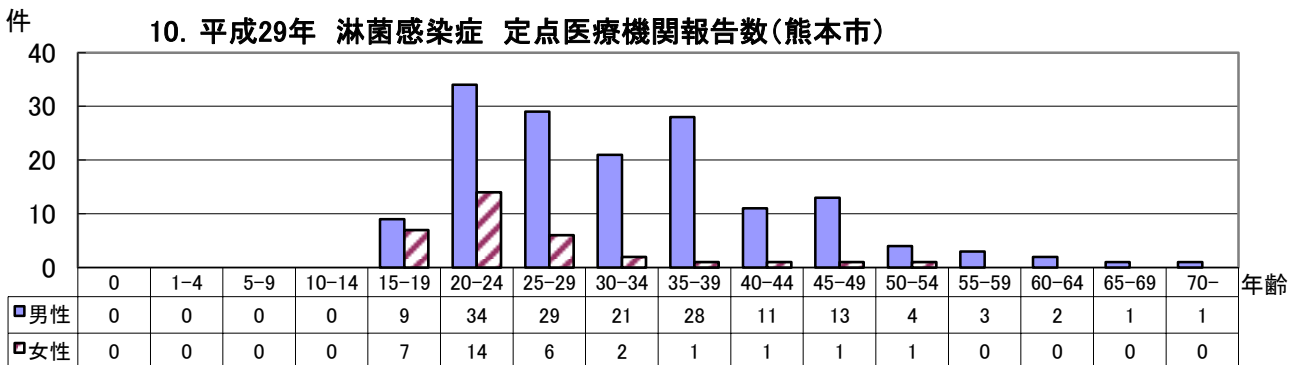
■性感染症の発生動向

※定点把握：STD定点医療機関から月1回の報告により発生状況を把握
(平成25年1月から熊本市のSTD定点数が5から6に増加)

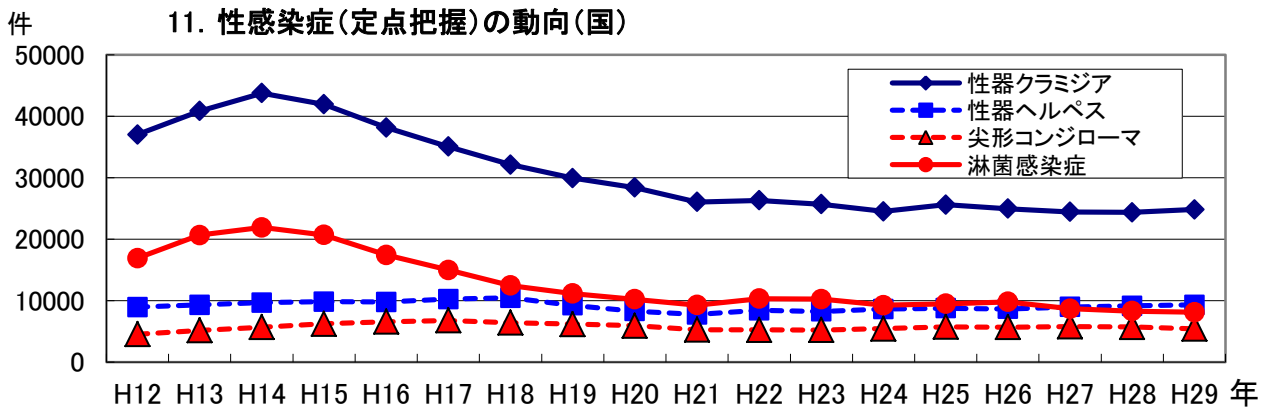
9. 平成29年 性器クラミジア感染症 定点医療機関報告数(熊本市)



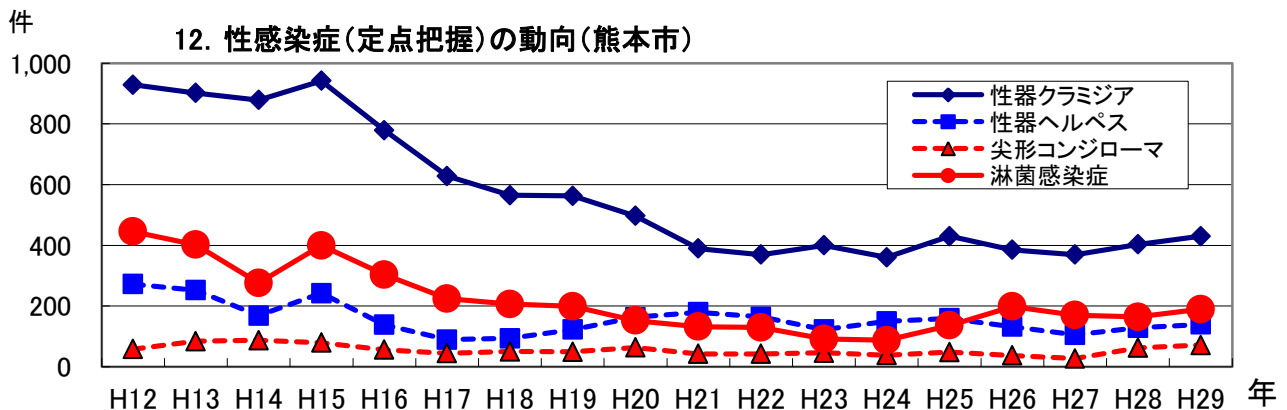
10. 平成29年 淋菌感染症 定点医療機関報告数(熊本市)



11. 性感染症(定点把握)の動向(国)

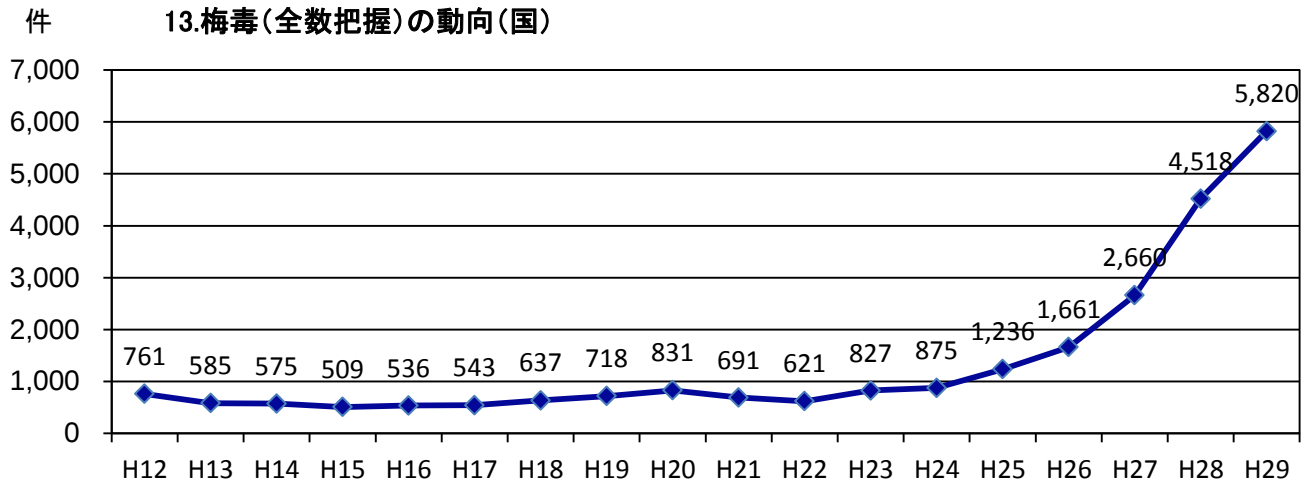


12. 性感染症(定点把握)の動向(熊本市)

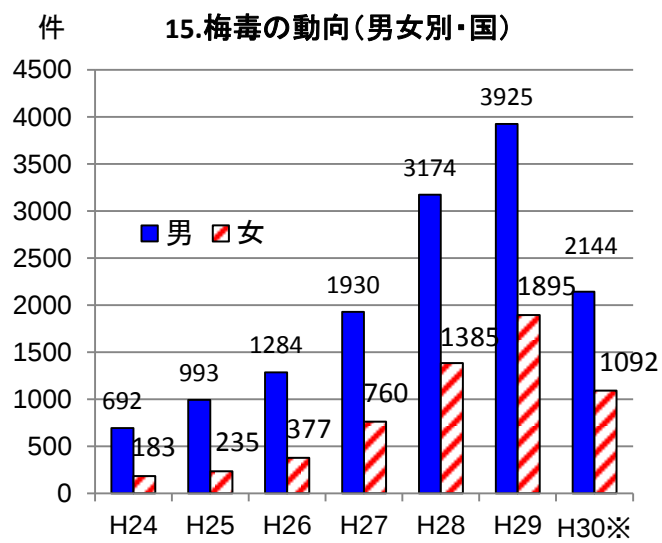
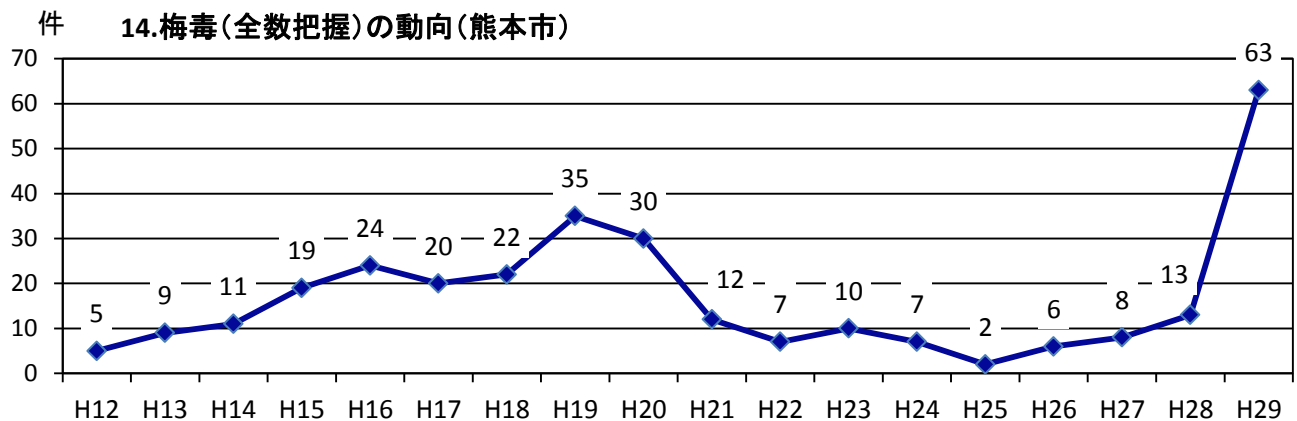


■梅毒の動向

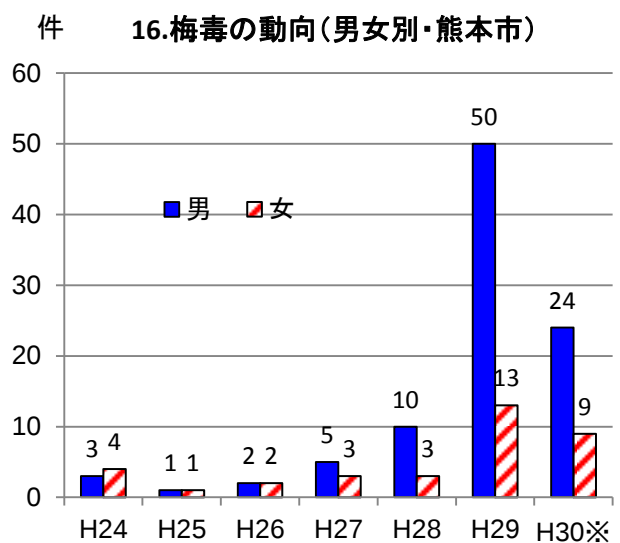
※全数把握：診断した医師からの7日以内の届出により全数を把握



出典 13、15:感染症発生動向調査事業



※H30は7月1日まで



※H30は7月1日まで

2) 平成 30 年度～2022 年度（平成 34 年度）H I V 感染および性感染症の予防対策（計画）

目的 H I V 及び性感染症の新規感染を減少させる

成果指標及び目標値

- 1 HIV 抗体検査数の増加
（現状）平成 29 年：1,269 件 ⇒（目標）2022 年（平成 34 年）：1,780 件
- 2 性器クラミジア感染症報告数の減少
（現状）平成 29 年： 430 件 ⇒（目標）2022 年（平成 34 年）： 324 件
- 3 梅毒報告数の減少（新規）
（現状）平成 29 年： 63 件 ⇒（目標）2022 年（平成 34 年）： 10 件

1, 2 については、前 5 年間から引続き、成果指標とした。

3 については、市内の報告数が急増していることから、平成 30 年度から新しく成果指標とした。

取組み方針

- ①普及啓発：広く市民に対し、知識と意識の向上を図り、検査体制の周知を行う。
- ②検査体制の整備：市民にとって利便性の高い検査体制を構築する。また、特に感染リスクが高いと考えられる層（青少年、MSM※、性風俗産業従事者利用者等）が利用しやすい体制とする。

※MSM：男性間で性行為を行う者をいう。以下、同じ。

施策（実施内容）

①正しい知識の普及啓発

〔一般〕

- ・ホームページ、ラジオ、市政だより等での広報
- ・働く世代への出前講座の実施
- ・街頭キャンペーンの実施
- ・啓発物の配布（ポスター、チラシ、パンフレットなど）
- ・一般の医療機関への情報提供を強化

〔青少年〕

- ・出前講座、講師派遣事業の実施
- ・大学生ボランティア等との協働により、高校・大学で啓発キャンペーンを実施
- ・青少年向け啓発物の作成・配布

〔MSM〕

- ・MSM当事者グループとの連絡会、勉強会等の実施
- ・ゲイバー等ゲイコミュニティへの啓発物の配布、情報発信
- ・MSM当事者に配慮した情報の発信方法の検討、実施

〔性風俗産業従事者利用者〕

- ・情報収集、検査利用者への情報提供
- ・店舗型性風俗特殊営業所の責任者等へパンフレット配布、検査の情報提供

②相談検査体制の整備

- ・平日昼間の即日検査、通常検査を継続実施
- ・休日検査、夜間検査について、より効果的な体制を検討
- ・予約不要の即日検査の実施
- ・メール予約受付体制の充実

3) 熊本市エイズ対策事業 平成 29 年度報告・平成 30 年度計画

1 正しい知識の普及啓発（表中の★：新規または重点事項）

施策層	平成 29 年度報告	平成 30 年度計画
青少年	【教育関係】 ●高校・専門学校への講師派遣事業 ※泌尿器科医、産婦人科医の専門医等を派遣 ・周知 4 月、8 月 ・8 回実施 2,200 人（高校 5 校、専門 3 校） ●出前講座（性感染症予防講座） ※感染症対策課職員が実施 ・周知 4 月、8 月 ・15 回実施 3,200 人（中学 13 校、高校 1 校、専門 1 校） ・出前講座事前・事後アンケートによる講話内容理解度の把握 ●直接依頼による性教育講話 ※感染症対策課職員が実施 ・1 回実施 35 人（児童福祉施設の職員） ★養護教諭部会・学校との取り組み ※市の教育啓発事業（高校向け）についての情報提供 ・熊本県高等学校保健会 熊本市地区養護教諭部会（12 月） ・熊本市立必由館高等学校学校保健会（2 月） 【啓発活動】 ●高校文化祭・大学学園祭でのキャンペーン ・1 高校 1 日間 91 人（必由館） ・大学学園祭でのキャンペーン 中止 ●アンケート調査による若者の実態把握（高校でのキャンペーン時） 91 人 ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科、教育学部養護教諭養成過程学生 10 人 ●高校・専門学校等巡回パネル展 「H I V ×（日常）×わたし。」※1 ・高校 2 校（必由館、熊工定時制） 【啓発物作成・配布・貸出し】 ●中学生向けオリジナルパンフレット 出前講座時に配布 13 校 2,197 部 ●啓発物配布（キャンペーン、研修会、見学実習など） ●パンフレット提供（購入分） ・各団体、学校、事業者等へ配布 ●教育用 DVD 貸出し 2 ヶ所 3 回（専門学校、児童相談所）	【教育関係】 ●高校・専門学校への講師派遣事業 ※泌尿器科医、産婦人科医の専門医等を派遣 ・周知 4 月、9 月 ●出前講座（性感染症予防講座） ※感染症対策課職員が実施 ・周知 4 月、9 月 ・出前講座事前・事後アンケートによる講話内容理解度の把握 ★健康教育課「性に関する指導」研修会への協力 8 月、11 月 ・パネル展示、当課の取り組み紹介 ・中学生向け資料の作成検討 【啓発活動】 ★高校文化祭・大学学園祭でのキャンペーン ・3 高校 3 日間予定（東稜、第一、必由館） ・1 大学 1 日間予定（熊大） ●アンケート調査による若者の実態把握（高校、大学でのキャンペーン時） ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科、教育学部養護教諭養成過程、養護教諭特別別科等 ●高校・専門学校等巡回パネル展 「H I V ×（日常）×わたし。」※1 【啓発物作成・配布・貸出し】 ●中学生向けオリジナルパンフレット 改訂・配布 ●啓発物配布（キャンペーン時など） ●パンフレット提供（購入分） ・各団体、学校、事業者等へ配布 ●教育用 DVD 貸出し

施策層	平成 29 年度報告	平成 30 年度計画
MSM (男性 間で性 行為を 行う者 をいう。 以下同 じ。)	【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※2との協働】 ★連絡会 ・拡大会 3 回 (9 月、11 月：関係者による活動状況についての意見交換) Safety Blanket、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者等、熊本県、熊本市 ・担当者会議 1 回 (具体的な活動案について意見交換) Safety Blanket、熊本大学附属病院エイズ診療従事者、熊本市 ・その他情報交換、打ち合わせ 随時 ●MSM 対象交流会兼勉強会 3 回 ●ゲイコミュニティでの啓発物配布 随時 ・コンドームやチラシをゲイバーやゲイクラブイベント、交流会で配布 ●ホームページへのリンク 本市エイズ検査相談のページに Safety Blanket のホームページをリンク 【その他】 ●相談室へのパンフレット及びステッカー添付コンドームの陳列 (持ち帰り自由) ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 ★HIV 検査の記事の「リンク集」を、「リンク集 (関連情報、ゲイ・バイセクシャル男性向け情報、ほか)」にタイトル変更	【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※2との協働】 ●連絡会 ・拡大会 (関係者による活動状況についての意見交換) Safety Blanket、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者、熊本県、熊本市 ・担当者会議 (具体的な活動案について意見交換) Safety Blanket、熊本大学附属病院エイズ診療従事者、熊本市 ・その他情報交換、打ち合わせ 随時 ●MSM 対象交流会兼勉強会 ●ゲイコミュニティでの啓発物配布 ★啓発物作製 ●ホームページへのリンク 【その他】 ●相談室へのパンフレット及びステッカー添付コンドームの陳列 (持ち帰り自由) ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 ★相談室・待合室に L G B T 関連冊子 (閲覧用) を設置
外国人	●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ (英語版)	●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ (英語版)
性風俗 産業従 事者利 用者	●検査相談利用時に個別に情報提供 ●店舗型性風俗特殊営業所の責任者へ保健所窓口でパンフレット等を配布	●検査相談利用時に個別に情報提供 ●店舗型性風俗特殊営業所の責任者へ保健所窓口でパンフレット等を配布
薬物乱 用者	●情報収集	●情報収集
一般市 民	【出前講座等】 ●出前講座 (働く世代) ・事業所等：3 回 185 人 【マスコミ】 ●広報：ラジオ 9 回実施 ●市政だより：3 回 (6 月、12 月、3 月) ★取材対応：テレビ 2 回、新聞 (報道、連載、大学生との取り組み紹介) 8 回	【出前講座等】 ●出前講座 (働く世代) 【マスコミ】 ●広報：ラジオ ●市政だより ●取材対応 随時

一般市民	【啓発物作成・配布】 ●H I V検査案内チラシ・カードの作製・配布 随時 ●エイズ予防啓発ポスター ・H I V検査普及週間・エイズデー啓発ポスターによる啓発 2回 ・特例検査広報ポスターの掲示・送付 4回 ●ウェルパルクまもと1階ロビーに啓発パンフレットを配置（常時） ●保健所、区役所でのパンフレット・啓発物配布（必要時） ●H I V検査広報ステッカー掲示 ・本庁舎トイレ、ウェルパルクまもとトイレ、市電・バス車内への掲示（継続） ・事業所、学校等への提供 随時 ★性感染症予防ポスター、チラシ、コンドーム配布 ★梅毒注意喚起チラシ作製・配布 - 各区保健子ども課、学校、自動車学校、皮膚科・泌尿器科・産婦人科へ送付 【イベント】 ★学校保健会主催イベント「からだの楽校」での啓発キャンペーン ・12/1(土) 熊本市学校保健会（健康教育課）主催イベントにて、熊本市の若者によるエイズ啓発グループ Safe LOVE Kumamoto※³との協働によりキャンペーンを実施。ボランティア（学生）11人が参加。 ・（内容）ブースでの啓発（エイズクイズ、パネル展示）、ステージ発表（アンケート調査発表、ファッションショー） ★エイズフォーラム「世界で熊本で、今、エイズについて考える」 ・12/16(土) JICA九州デスク熊本との共同企画により実施 ・（内容）講演会、ワークショップ、啓発物配布、パネル展 ★巡回パネル展「HIV×（日常）×わたし。」 ・森都心プラザ図書館（12月） ・熊本県栄養士会研修会会場（2月） ・市主催のエイズ啓発イベント等で展示 ・ウェルパルクまもと玄関ホール（5～6月、11～12月） ・エイズ相談室周辺（常設展示） ・水俣保健所、御船保健所へ貸し出し 【ホームページ】 ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新	【啓発物作成・配布】 ●H I V検査案内チラシ・カードの作製・配布 随時 ●エイズ予防啓発ポスター ・HIV検査普及週間・エイズデー啓発ポスターによる啓発 ・本市作製ポスターの送付 ●ウェルパルクまもと1階ロビーに啓発パンフレットを配置（常時） ●保健所、区役所でのパンフレット・啓発物配布 ●H I V検査広報ステッカー掲示 ★医療機関へパンフレット送付 ★性感染症・梅毒啓発チラシ配布 【イベント】 ●歯たちの健診 in テラバル T1 フェスタでの啓発物配布（健康づくり推進課） ・7月8日（日）10時～16時 ・テラバル自動車学校にて HIV 検査広報チラシ・ティッシュを200組配布 ・対象：学生、20歳代の市民等 ●学校保健会主催イベント「からだの楽校」での啓発キャンペーン ・10月21日（日）実施予定 ●街頭キャンペーン 11～12月実施予定 ★巡回パネル展「HIV×（日常）×わたし。」※¹ ・市主催のエイズ啓発イベント等で展示 ・ウェルパルクまもと玄関ホール ・エイズ相談室周辺（常設展示） ・関係機関等への貸し出し 【ホームページ】 ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新
-------------	---	--

一般市民	●アクセス数（件） 「熊本市 HIV（エイズ）検査相談※⁴」 29 年 13,823 件（月あたり約 1,152 件） 「メール予約について」 29 年 3,027 件（月あたり約 252 件） 【研修会等への協力】 ※熊本市の現状、啓発の取組み、検査相談体制等について紹介。 ★日本エイズ学会学術集会 シンポジウム 「地方都市における HIV 検査アクセスの向上」（東京都中野区、12/25） 【医療関係者への情報提供】 ★熊本市予防接種説明会（3/8, 16）にて、エイズ予防指針の全部改定と熊本の現状について情報提供	【研修会等への協力】 ※熊本市の現状、啓発の取組み、検査相談体制等について紹介。
------	--	--

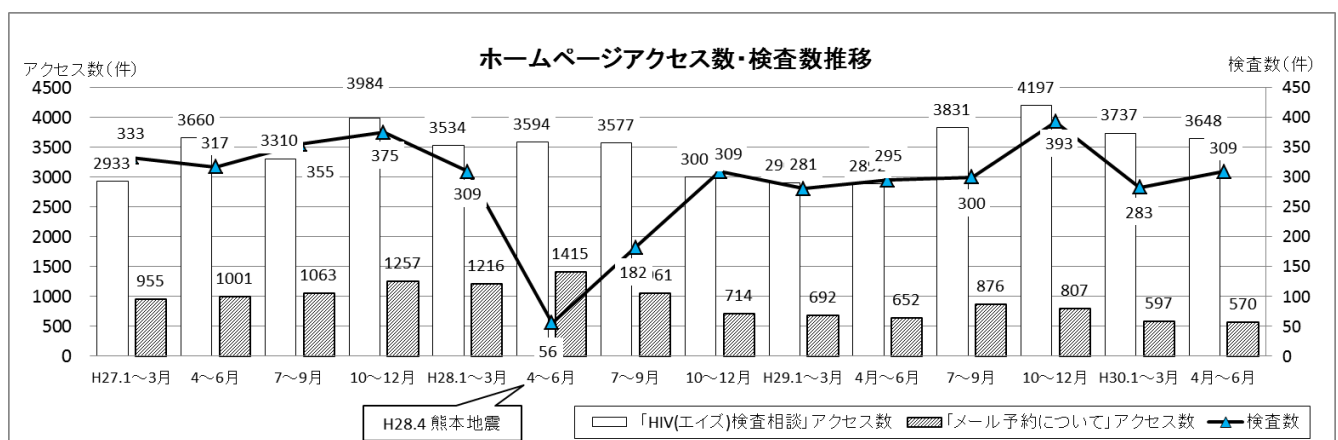
- ※1 パネル展「HIV×（日常）×わたし。」：熊本の学生、社会人、医療関係者等に行ったエイズに関するインタビューの内容と写真をパネルにしたもの。26 年度の街頭キャンペーンにあわせて作製した。27 年度以降、高校、専門学校、その他一般施設等で巡回展示を行っている。
- ※2 Safety Blanket（旧称「KK」平成 28 年 2 月に改名）：平成 25 年 12 月に結成された熊本のゲイ当事者によるサークル。20～30 代の学生、社会人で構成。26 年 9 月から熊本市と協働してエイズ啓発活動等を行っている。
- ※3 Safe LOVE Kumamoto (SaLK)：熊本市の若者によるエイズ啓発ボランティアグループ。熊本大学の学生や社会人、約 20 人で構成。熊本市と協働し、街頭キャンペーンや啓発物の作製等を行っている。
- ※4 熊本市ホームページ内「HIV（エイズ）検査のお知らせ」（スマートフォン対応）

http://www.city.kumamoto.jp/hpKi/ji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=3355&class_set_id=2&class_id=1975

（スマートフォン用 QR コード⇒）



【参考】ホームページアクセス数・検査数推移



2 相談検査体制の充実

	平成 29 年度報告	平成 30 年度計画
窓口の 拡大	●エイズ相談検査体制 ・通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 ・夜間・休日検査（即日検査） 特例検査、臨時検査として 4 回実施 （日程を同ページ下に記載） ※無料・匿名 ※相談室、待合室は個室対応（特例検査・臨時検査を除く） ※希望者は、クラミジア抗体検査、梅毒検査を同時受検可能 ・メール予約受付 平日午後（13：00～15：00）の即日検査及び予約制の臨時検査を対象に、メールでの予約を受付 ・受検者アンケートの実施 受検者へアンケートを実施（任意回答、アンケートボックスにて個人を特定せず回収） ■29 年実績（件） ・相談数 1,308 検査数 1,269 即日〔再掲〕相談 1,070 検査 1,069 夜間〔再掲〕相談 19 検査 19 日曜〔再掲〕相談 121 検査 120 ・クラミジア抗体検査 1,121、梅毒検査 1,163 ・メール予約問合せ数 225 予約成立数〔再掲〕173 （予約制の即日検査 949 件の 18.2%） ○夜間・休日検査 実施状況（件数再掲） ①6/11（日）13：00～14：00（予約不要） ・相談 52 検査 51 ②10/3（火）17：30～19：30（予約制） ・相談 19 検査 19 ③12/10（日）13：00～14：00（予約不要） ・相談 47 検査 47 ④3/10（土）13：00～14：00（予約不要） ・相談 21 検査 21	●エイズ相談検査体制 ・通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 ・夜間・休日検査（即日検査） 特例検査、臨時検査として 6 回実施 予定（日程を同ページ下に記載） ※無料・匿名 ※相談室、待合室は個室対応（特例検査・臨時検査を除く） ※希望者は、クラミジア抗体検査、梅毒検査を同時受検可能 ・メール予約受付 平日午後（13：00～15：00）の即日検査及び予約制の臨時検査を対象に、メールでの予約を受付 ・受検者アンケートの実施 受検者へアンケートを実施（任意回答、アンケートボックスにて個人を特定せず回収） ○夜間・休日検査 実施予定 ①6/10（日）13：00～14：00（予約不要） ②7/27（金）17：30～19：30（予約制） ③10/1（月）17：30～19：30（予約制） ④12/1（土）13：00～15：00（予約制） ⑤12/9（日）13：00～14：00（予約不要） ⑥3/10（日）13：00～14：00（予約不要） ※夜間・土曜日は予約制（定員 20 名）、日曜日は予約不要（定員なし）で実施予定

相談業務 の充実	【研修】 ●「平成 29 年度エイズ検査・相談カウンセリング研修会」熊本県 8/21 3 名 ●「H I V 検査相談研修会（東京）」エイズ予防財団 8/24, 25（2 日間）1 名 ●「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」国立病院機構九州医療センター 9/29（1 日間）1 名 ★「LGBT に関する相談員研修」熊本市男女共同参画課主催 3/5（1 時間）2 名 【その他】 ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 ・熊本の L G B T 支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置	【研修】 ●「平成 30 年度エイズ検査・相談カウンセリング研修会」熊本県 7/27 5 名 ●「H I V 検査相談研修会（東京）」エイズ予防財団 8/30, 31（2 日間）1 名 ●「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」国立病院機構九州医療センター 10/12（1 日間）1 名 ●「エイズ対策研修」国立保健医療科学院 9/11～14（4 日間）1 名 【その他】 ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 ・熊本の L G B T 支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置
-------------	--	---

OHIV 検査普及週間 6/1～7

○世界エイズデー

12/1

3 その他

（１）医療体制および生活支援体制

	平成 29 年度報告	平成 30 年度計画
医療体制	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●感染者・医療担当者との情報交換 ・4/27「H I V 感染予防と早期発見、早期治療に関する打ち合わせ会 2017（熊大病院）」参加・熊本市の取組み紹介・意見交換 ・3/22「平成 29 年度 HIV 感染症/AIDS 症例検討会（熊本大学医学部附属病院）」参加・熊本市の取組み紹介・意見交換 ・随時、担当者間で情報交換	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●感染者・医療担当者との情報交換 ・5/17「H I V 感染予防と早期発見、早期治療に関する打ち合わせ会 2018（熊大病院）」参加・熊本市の取組み紹介・意見交換 ・随時、担当者間で情報交換 ★一般の医療機関へエイズ・性感染症に関する情報を提供
生活支援体制・福祉制度	●必要時に関係機関と情報交換 ※福祉制度：身体障害者手帳、更生医療による医療費助成・福祉サービス（申請窓口：障がい保健福祉課）	●必要時に関係機関と情報交換 ※福祉制度：身体障害者手帳、更生医療による医療費助成・福祉サービス（申請窓口：障がい保健福祉課）

（２）推進体制の整備

	平成 29 年度報告	平成 30 年度計画
熊本市エイズ総合対策推進会議	●8 月に開催 ●3 月に報告書作成 ●エイズ対策の目標値（指標）の実動計画、実施	●8 月に開催 ●3 月に報告書作成 ●エイズ対策の目標値（指標）の実動計画、実施
NGO とのパートナーシップ推進	●ボランティア団体との協働（情報交換・研修等） ●情報交換等（研修会など）	●ボランティア団体との協働（情報交換・研修等） ●情報交換等（研修会など）

■ 情報 「厚生労働省エイズ動向委員会報告 2017 年 3 月」から

○委員長コメント

○表 2 平成 28 年 12 月 25 日現在の HIV 感染者及びエイズ患者の
国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

○表 3 H I V感染者及びエイズ患者の都道府県別累計報告状況

第150回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成29年第3・第4四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成29年6月26日～平成29年9月24日（以下A、前年同時期を α とする）
平成29年9月25日～平成29年12月31日（以下B、前年同時期を β とする）の約半年
2. 新規HIV感染者報告数は（A）245件及び（B）241件（（ α ）261件及び（ β ）253件）
3. 新規AIDS患者報告数は（A）110件及び（B）122件（（ α ）113件及び（ β ）110件）
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は（A）355件及び（B）363件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが（A）174件及び（B）178件
（新規HIV感染者報告数の（A）約71%及び（B）約74%）
 - 異性間性的接触によるものが（A）35件及び（B）31件
（新規HIV感染者報告数の（A）約14%及び（B）約13%）
そのうち（A）は男性30件、女性5件（B）は男性25件、女性6件
 - 静注薬物によるものは（A）2件及び（B）1件
 - 母子感染によるものは（A）2件及び（B）1件
 - 年齢別では、20～40代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが（A）60件及び（B）70件
（新規AIDS患者報告数の（A）約55%及び（B）約57%）
 - 異性間性的接触によるものが（A）35件及び（B）31件
（新規AIDS患者報告数の（A）約32%及び（B）約25%）
そのうち（A）は男性27件、女性8件（B）は男性22件、女性9件
 - 静注薬物によるものは（A）、（B）共に0件
 - 母子感染によるものは（A）、（B）共に0件
 - 年齢別では、30～40代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成29年7月～12月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数は（A）22,906件及び（B）25,511件
（前年同時期確定値（ α ）21,045件及び（ β ）24,249件）
自治体を実施する保健所以外の検査件数は（A）7,779件及び（B）8,617件
（前年同時期確定値（ α ）6,981件及び（ β ）7,968件）
2. 保健所等における相談件数は（A）31,447件及び（B）33,069件
（前年同時期確定値（ α ）29,263件及び（ β ）31,123件）

【献血の概況（平成29年1月～12月）】

1. 献血件数（速報値）は、4,775,648件（前年同時期4,841,601件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は43件（前年同時期48件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、0.900件（前年同時期0.991件）

《まとめ》

1. 平成29年の新規HIV感染者報告数を前年同時期と比較すると、第3、第4四半期共に前年同時期より減少していた。新規AIDS患者報告数については、第3は前年同時期より減少し、第4四半期共に前年同時期より増加していた。
2. これまでと同様、平成29年下半期の新規HIV感染者は20～40代、新規AIDS患者は30～40代で報告数が多かった。平成29年度第3及び第4四半期に、母子感染が報告された。一方で、70歳以上の新規HIV感染者及び新規エイズ患者も報告されており、幅広い年齢層の報告がある。
3. 平成29年第3四半期及び第4四半期の保健所等におけるHIV抗体検査件数及び相談件数は前年同時期に比して増加していた。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名HIV抗体検査及び相談を積極的に利用していただきたい。

《平成29年 年間報告（速報値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成28年12月26日～平成29年12月31日までの約1年（四半期ごと速報値の合計）
2. 新規HIV感染者報告数は992件で過去11位
3. 新規AIDS患者報告数は415件で過去11位
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は1,407件で過去11位

【感染経路・年齢等の動向（速報値）】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが 724件（全HIV感染者報告数の約73%）
 - 異性間性的接触によるものが 150件（全HIV感染者報告数の約15%）
 - 静注薬物によるものは 3件
 - 母子感染によるものは 3件
 - 年齢別では、特に20～40代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが 230件（全AIDS患者報告数の約55%）
 - 異性間性的接触によるものが 103件（全AIDS患者報告数の約25%）
 - 静注薬物によるものは 1件
 - 母子感染によるものは 1件
 - 年齢別では、特に30歳以上が多い。なお、50歳以上が約29%を占めている。

【検査・相談件数の概況（平成29年1月～12月）】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数（確定値）は 123,432件で過去11位
2. 保健所等における相談件数（確定値）は 123,768件で過去20位

《まとめ》

1. 平成29年は速報値ではあるが、新規HIV感染者報告数及び新規AIDS患者報告数は平成28年より減少した。
2. 新規HIV感染者及び新規AIDS患者報告の感染経路は、性的接触によるものが8割以上で、男性同性間性的接触によるものが多い。HIV感染症は予防が可能な感染症である。HIVに感染していない者においては、適切な予防策をとること、HIVに感染した者においては、まずは自分の感染を知ることが、個人においては早期治療に、社会においては感染の拡大防止に結びつくことから、重要となる。国民の皆様には、性感染症を含め、保健所の無料・匿名での相談や検査の機会を積極的に利用いただきたい。
3. 速報値ではあるが、3年ぶりに複数の母子感染の報告があった。母子感染の防止には、妊婦に対するHIV抗体検査の実施や抗ウイルス療法等が重要である。妊婦健診を確実に受診していただき、医師の指示に従っていただきたい。また、妊娠中にも、性感染症に罹るリスクがあることを知っていただいた上で、適切な予防行動を取っていただきたい。
4. 速報値ではあるが、献血における10万件当たりの陽性者件数は昨年比で減少した。血液製剤によるHIV感染を防ぐため、HIV感染症が疑われる場合、国民の皆様には保健所等での無料・匿名検査を積極的に利用いただきたい。
5. 新規HIV感染者・AIDS患者報告数に占めるAIDS患者報告数の割合は、約3割のまま推移している。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつく。自治体におかれては、エイズ予防指針を踏まえ、引き続き利便性に配慮した検査相談体制を推進していただきたい。

感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報

平成29年12月31日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	15,654	962	16,616	1,766	1,460	3,226	17,420	2,422	19,842
	異性間の性的接触	3,013	781	3,794	458	859	1,317	3,471	1,640	5,111
	同性間の性的接触 ^{*1}	11,027	4	11,031	754	1	755	11,781	5	11,786
	静注薬物使用	41	2	43	30	3	33	71	5	76
	母子感染	18	10	28	6	9	15	24	19	43
	その他 ^{*2}	304	40	344	65	28	93	369	68	437
	不明	1,251	125	1,376	453	560	1,013	1,704	685	2,389
エイズ患者	合計 ^{*3}	7,164	398	7,562	930	416	1,346	8,094	814	8,908
	異性間の性的接触	2,232	264	2,496	306	231	537	2,538	495	3,033
	同性間の性的接触 ^{*1}	3,485	3	3,488	186	2	188	3,671	5	3,676
	静注薬物使用	28	4	32	27	3	30	55	7	62
	母子感染	9	3	12	1	6	7	10	9	19
	その他 ^{*2}	179	24	203	28	16	44	207	40	247
	不明	1,231	100	1,331	382	158	540	1,613	258	1,871
HIV感染者+エイズ患者	合計	22,818	1,360	24,178	2,696	1,876	4,572	25,514	3,236	28,750
凝固因子製剤による感染者 ^{*4}		1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2016年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数（平成11年4月1日～平成28年12月31日）	373 名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数（平成元年2月17日～平成11年3月31日）	596 名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	711 名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2016年5月31日現在の報告数

感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報
HIV感染者及びエイズ患者の都道府県別累積報告状況
(平成29年9月25日～平成29年12月31日)

ブロック名	都道府県名	HIV感染者								エイズ患者							
		今回		前回		累 計				今回		前回		累 計			
		報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕
北海道	1 北海道	2	〔2〕	2	〔2〕	312	1.6%	〔196〕	〔2.0%〕	6	〔5〕	3	〔3〕	189	2.1%	〔102〕	〔2.2%〕
東北	2 青森県	1	〔0〕	0	〔0〕	55	0.3%	〔23〕	〔0.2%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	34	0.4%	〔15〕	〔0.3%〕
	3 岩手県	0	〔0〕	0	〔0〕	31	0.2%	〔13〕	〔0.1%〕	1	〔1〕	1	〔0〕	34	0.4%	〔16〕	〔0.3%〕
	4 宮城県	1	〔1〕	3	〔3〕	142	0.7%	〔71〕	〔0.7%〕	0	〔0〕	1	〔1〕	94	1.1%	〔56〕	〔1.2%〕
	5 秋田県	0	〔0〕	0	〔0〕	23	0.1%	〔8〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	24	0.3%	〔11〕	〔0.2%〕
	6 山形県	0	〔0〕	0	〔0〕	28	0.1%	〔13〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	1	〔0〕	24	0.3%	〔6〕	〔0.1%〕
	7 福島県	3	〔2〕	1	〔1〕	80	0.4%	〔45〕	〔0.5%〕	2	〔1〕	3	〔2〕	57	0.6%	〔27〕	〔0.6%〕
	ブロック計	5	〔3〕	4	〔4〕	359	1.8%	〔173〕	〔1.8%〕	3	〔2〕	6	〔3〕	267	3.0%	〔131〕	〔2.9%〕
関東・甲信越	8 茨城県	1	〔1〕	2	〔2〕	546	2.8%	〔146〕	〔1.5%〕	2	〔2〕	0	〔0〕	329	3.7%	〔93〕	〔2.0%〕
	9 栃木県	4	〔4〕	3	〔2〕	256	1.3%	〔81〕	〔0.8%〕	1	〔0〕	2	〔2〕	202	2.3%	〔63〕	〔1.4%〕
	10 群馬県	2	〔2〕	2	〔2〕	203	1.0%	〔83〕	〔0.8%〕	2	〔2〕	2	〔2〕	148	1.7%	〔52〕	〔1.1%〕
	11 埼玉県	5	〔6〕	7	〔10〕	553	2.8%	〔459〕	〔4.6%〕	2	〔3〕	2	〔3〕	364	4.1%	〔206〕	〔4.5%〕
	12 千葉県	6	〔12〕	5	〔13〕	831	4.2%	〔444〕	〔4.5%〕	8	〔7〕	3	〔4〕	559	6.3%	〔233〕	〔5.1%〕
	13 東京都	93	〔81〕	99	〔74〕	7,391	37.3%	〔3,033〕	〔30.7%〕	27	〔24〕	30	〔25〕	2,217	24.9%	〔967〕	〔21.1%〕
	14 神奈川県	13	〔15〕	14	〔12〕	1,321	6.7%	〔692〕	〔7.0%〕	7	〔10〕	3	〔4〕	644	7.2%	〔284〕	〔6.2%〕
	15 新潟県	1	〔1〕	3	〔3〕	101	0.5%	〔39〕	〔0.4%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	60	0.7%	〔25〕	〔0.5%〕
	16 山梨県	1	〔1〕	0	〔0〕	119	0.6%	〔39〕	〔0.4%〕	1	〔1〕	1	〔0〕	52	0.6%	〔15〕	〔0.3%〕
	17 長野県	5	〔5〕	3	〔2〕	317	1.6%	〔72〕	〔0.7%〕	4	〔1〕	1	〔1〕	207	2.3%	〔59〕	〔1.3%〕
	ブロック計	131	〔108〕	138	〔120〕	11,638	58.7%	〔5,088〕	〔51.5%〕	54	〔50〕	44	〔41〕	4,782	53.7%	〔1,997〕	〔43.5%〕
北陸	18 富山県	2	〔2〕	2	〔2〕	45	0.2%	〔25〕	〔0.3%〕	2	〔2〕	2	〔3〕	36	0.4%	〔19〕	〔0.4%〕
	19 石川県	1	〔1〕	0	〔0〕	83	0.4%	〔48〕	〔0.5%〕	1	〔0〕	0	〔0〕	40	0.4%	〔25〕	〔0.5%〕
	20 福井県	0	〔0〕	0	〔0〕	48	0.2%	〔24〕	〔0.2%〕	0	〔0〕	1	〔3〕	35	0.4%	〔25〕	〔0.5%〕
	ブロック計	3	〔3〕	2	〔2〕	176	0.9%	〔97〕	〔1.0%〕	3	〔2〕	3	〔6〕	111	1.2%	〔69〕	〔1.5%〕
東海	21 岐阜県	2	〔3〕	5	〔5〕	170	0.9%	〔124〕	〔1.3%〕	0	〔0〕	2	〔1〕	127	1.4%	〔92〕	〔2.0%〕
	22 静岡県	0	〔1〕	3	〔2〕	434	2.2%	〔171〕	〔1.7%〕	6	〔4〕	0	〔0〕	216	2.4%	〔90〕	〔2.0%〕
	23 愛知県	11	〔7〕	10	〔11〕	1,159	5.8%	〔656〕	〔6.6%〕	6	〔6〕	6	〔6〕	603	6.8%	〔450〕	〔9.8%〕
	24 三重県	0	〔0〕	3	〔1〕	164	0.8%	〔84〕	〔0.8%〕	2	〔1〕	1	〔1〕	95	1.1%	〔52〕	〔1.1%〕
	ブロック計	13	〔11〕	21	〔19〕	1,927	9.7%	〔1,035〕	〔10.5%〕	14	〔11〕	9	〔8〕	1,041	11.7%	〔684〕	〔14.9%〕
近畿	25 滋賀県	2	〔1〕	1	〔1〕	84	0.4%	〔52〕	〔0.5%〕	0	〔0〕	2	〔2〕	70	0.8%	〔39〕	〔0.9%〕
	26 京都府	2	〔2〕	4	〔6〕	256	1.3%	〔155〕	〔1.6%〕	2	〔1〕	5	〔4〕	131	1.5%	〔70〕	〔1.5%〕
	27 大阪府	28	〔27〕	29	〔28〕	2,542	12.8%	〔1,382〕	〔14.0%〕	9	〔7〕	12	〔13〕	837	9.4%	〔596〕	〔13.0%〕
	28 兵庫県	4	〔0〕	10	〔7〕	431	2.2%	〔328〕	〔3.3%〕	2	〔1〕	5	〔4〕	240	2.7%	〔150〕	〔3.3%〕
	29 奈良県	0	〔0〕	1	〔0〕	112	0.6%	〔65〕	〔0.7%〕	0	〔0〕	2	〔2〕	76	0.9%	〔48〕	〔1.0%〕
	30 和歌山県	0	〔0〕	2	〔1〕	69	0.4%	〔44〕	〔0.4%〕	1	〔0〕	0	〔0〕	52	0.6%	〔19〕	〔0.4%〕
	ブロック計	36	〔30〕	47	〔43〕	3,494	17.6%	〔2,026〕	〔20.5%〕	14	〔9〕	26	〔25〕	1,406	15.8%	〔922〕	〔20.1%〕
中国・四国	31 鳥取県	0	〔0〕	1	〔1〕	17	0.1%	〔9〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	1	〔1〕	19	0.2%	〔16〕	〔0.3%〕
	32 島根県	0	〔0〕	0	〔0〕	19	0.1%	〔10〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	9	0.1%	〔3〕	〔0.1%〕
	33 岡山県	6	〔4〕	2	〔2〕	156	0.8%	〔106〕	〔1.1%〕	2	〔2〕	2	〔2〕	82	0.9%	〔47〕	〔1.0%〕
	34 広島県	5	〔3〕	1	〔1〕	231	1.2%	〔130〕	〔1.3%〕	3	〔1〕	2	〔2〕	120	1.3%	〔93〕	〔2.0%〕
	35 山口県	0	〔0〕	0	〔0〕	68	0.3%	〔46〕	〔0.5%〕	2	〔1〕	0	〔0〕	27	0.3%	〔18〕	〔0.4%〕
	36 徳島県	0	〔0〕	0	〔0〕	43	0.2%	〔34〕	〔0.3%〕	0	〔0〕	1	〔1〕	25	0.3%	〔17〕	〔0.4%〕
	37 香川県	1	〔1〕	2	〔3〕	68	0.3%	〔48〕	〔0.5%〕	1	〔1〕	2	〔1〕	50	0.6%	〔39〕	〔0.9%〕
	38 愛媛県	2	〔1〕	3	〔2〕	83	0.4%	〔36〕	〔0.4%〕	0	〔0〕	1	〔0〕	60	0.7%	〔35〕	〔0.8%〕
	39 高知県	0	〔0〕	1	〔1〕	43	0.2%	〔29〕	〔0.3%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	31	0.3%	〔24〕	〔0.5%〕
	ブロック計	14	〔9〕	10	〔10〕	728	3.7%	〔448〕	〔4.5%〕	8	〔5〕	9	〔7〕	423	4.7%	〔292〕	〔6.4%〕
九州・沖縄	40 福岡県	18	〔19〕	12	〔11〕	566	2.9%	〔398〕	〔4.0%〕	9	〔10〕	7	〔6〕	301	3.4%	〔231〕	〔5.0%〕
	41 佐賀県	2	〔1〕	0	〔1〕	35	0.2%	〔35〕	〔0.4%〕	1	〔1〕	0	〔1〕	21	0.2%	〔22〕	〔0.5%〕
	42 長崎県	1	〔1〕	2	〔2〕	53	0.3%	〔29〕	〔0.3%〕	0	〔0〕	1	〔0〕	36	0.4%	〔20〕	〔0.4%〕
	43 熊本県	3	〔1〕	2	〔1〕	100	0.5%	〔55〕	〔0.6%〕	1	〔0〕	0	〔0〕	63	0.7%	〔47〕	〔1.0%〕
	44 大分県	1	〔1〕	0	〔0〕	57	0.3%	〔35〕	〔0.4%〕	1	〔1〕	0	〔0〕	31	0.3%	〔24〕	〔0.5%〕
	45 宮崎県	2	〔2〕	2	〔2〕	59	0.3%	〔46〕	〔0.5%〕	2	〔2〕	0	〔0〕	45	0.5%	〔35〕	〔0.8%〕
	46 鹿児島県	3	〔3〕	0	〔1〕	96	0.5%	〔69〕	〔0.7%〕	2	〔1〕	2	〔2〕	72	0.8%	〔41〕	〔0.9%〕
	47 沖縄県	7	〔5〕	3	〔1〕	243	1.2%	〔153〕	〔1.5%〕	4	〔3〕	0	〔0〕	120	1.3%	〔66〕	〔1.4%〕
	ブロック計	37	〔33〕	21	〔19〕	1,209	6.1%	〔820〕	〔8.3%〕	20	〔18〕	10	〔9〕	689	7.7%	〔486〕	〔10.6%〕
合計		241	〔199〕	245	〔219〕	19,843	100%	〔9,883〕	〔100.0%〕	122	〔102〕	110	〔102〕	8,908	100%	〔4,587〕	〔100.0%〕

※〔報告地〕：昭和60年から集計
※〔居住地〕：最近数年間の主な居住地（平成19年4月から記載）

後天性免疫不全症候群発生届出(抜粋)
①最近数年間の主な居住地
1)日本国内(都道府県)
2)その他()
3)不明